

[参考事項]

成果情報名：園芸部門における労働力不足に対応した労働力確保モデルの構築

研究機関名 農業試験場 企画経営室 経営班
担 当 者 黒沢雅人・小原淳

[要約]

本県の園芸部門における労働力不足を解決するため、確保する労働力に応じた労働力確保モデルを構築した。なお、労働力確保モデルを導入し円滑に実践するためには、実施主体、市町村、県、経営体で構成される地域協議会が連携して取り組むことが求められる。

[キーワード]

労働力確保モデル、求職者の確保、地域協議会

[普及対象範囲]

県内全域

[ねらい]

経営体の園芸部門の維持・拡大のためには、安定した労働力確保が喫緊の課題となっている。

そこで、労働力を確保している県内外の先進優良事例から多様な求職者を確保、導入を図る実施主体の取組を基軸とした本県の労働力確保モデルを構築する。

[成果の内容及び特徴]

- 1 確保する労働力及び実施主体の取組内容を基に本県の労働力確保モデルを「地域内労働力紹介型(モデルA)」、「地域外労働力紹介型(モデルB)」、「農作業請負型(モデルC)」とし、モデルA、モデルBの就業期間の拡大を目指し発展させた「県域労働力循環型(モデルD)」に分類した。
- 2 各労働力確保モデルの支援体制は、地域農業に密接に関わるJAに期待することが多く、実施主体、市町村、県、経営体を構成員とする地域協議会が連携して取り組むことが必要となる。なお、モデルDは各就業地域の地域協議会が連携するとともに、県域の秋田県農業労働力サポートセンターがその連携を支援することでより効果的な活動が可能となる。
- 3 地域協議会の主な役割は、「事業全体の運営」、「求職者の掘り起こし」、「求職者の受入体制整備」、「求人者の労務環境指導」、「求職者の作業技術指導」等が挙げられ、これに基づいた各種実施内容を構成員が分担して行うことが必要とされる。
- 4 本県で取り組まれる園芸品目を労働力の投入状況を基に4つのタイプに分類し、各労働力確保モデルに投入可能なタイプを選定した。なお、モデルDは、複数の労働力投入タイプを組み合わせることで就業期間が拡大される。

[成果の活用上の留意点]

- 1 モデルBでは、求職者の就業期間中の滞在施設が必要となるため、新たに滞在施設を整備する際は、費用負担が大きくなると想定される。
- 2 モデルAでは、全ての園芸品目労働力投入タイプを導入可能としているが、「スポットタイプ」や「生育連動タイプ」については、短期間に集中した労働力の投入が必要であり、十分な求職者の確保は難しいと想定される。
- 3 モデルAでは、求職者確保が難しい農村地域に都市地域からの求職者を確保(通勤手当拡充、移動手段確保等)する新たな仕組みが必要となる。また、モデルBでは、コロナ禍による移動制限等の外的要因で求職者の確保が難しくなると想定され、他の労働力確保モデルでの対応も必要になる。

[具体的なデータ等]

表1 秋田県労働力確保モデル

導入型	モデルA 地域内労働力紹介型	モデルB 地域外労働力紹介型	モデルC 農作業請負型	モデルD 県域労働力循環型
事業名	無料職業紹介事業	滞在型アルバイト紹介事業	農作業請負事業	求職者循環紹介事業
取組内容	・経営体と県内求職者をマッチング	・経営体と県外求職者をマッチング	・経営体の農作業を請け負う	・県内の就業地域を求職者が循環 ・各就業地域でマッチング
確保労働力	県内の求職者 高齢者、主婦、学生等	県外の求職者 滞在型アルバイト	県内外の求職者 高齢者、主婦、外国人技能実習生等	県内外の求職者 滞在型アルバイト、他
導入上の課題	・求職者の就業条件への対応 ・求職者の確保と定着	・求職者の就業条件への対応 ・求職者の確保と定着	・作業員の確保と定着 ・年間作業スケジュール構築	・求職者の就業条件への対応 ・求職者の確保と定着
支援体制	JA（実施主体）、市町村、県、経営体を 構成員とする地域協議会			・就業地域毎の地域協議会 ・秋田県農業労働力サポートセンター
主な役割分担（案）	実施主体：全体運営 市町村：求職者掘り起こし 求職者受入体制整備 県：求人者労務環境指導 求職者作業技術指導	実施主体：全体運営 市町村：求職者受入体制整備 県：求人者労務環境指導 求職者作業技術指導	実施主体：全体運営 市町村：求職者募集支援 求職者受入支援 県：栽培技術指導	実施主体：全体運営 市町村：求職者受入体制整備 県：求人者労務環境指導 求職者作業技術指導 サポートセンター ：地域協議会間の連携支援
主な支援内容（例）	・求職者・求人者の募集 ・求人者・求職者のマッチング ・就業以降のトラブル対応 ・求人者の就業環境整備 ・求職者向け作業技術研修 ・新規求職者の掘り起こし ・利用規定の制定と遵守	・地域外での求職者募集 ・求職者・求人者のマッチング ・就業以降のトラブル対応 ・就業・滞在環境等の整備 ・新規求職者の掘り起こし ・利用規定の制定と遵守	・地域内外での求職者募集 ・請負作業の調整 ・利用規程の制定と遵守 ・作業員の年間作業整備 ※外国人技能実習生を活用する場合、滞在環境の整備	・求職者・求人者の募集 ・求職者・求人者のマッチング ・就業以降のトラブル対応 ・就業・滞在環境等の整備 ・新規求職者の掘り起こし ・利用規定の制定と遵守 ・地域協議会同士での連携
園芸品目労働力投入タイプ	スポットタイプ（リンドウ） 生育連動タイプ（キュウリ） 収穫短期投入タイプ（エダマメ） 収穫長期投入タイプ（ネギ）	収穫短期投入タイプ（エダマメ） 収穫長期投入タイプ（ネギ）	各労働力投入タイプに分類せず、地域推進品目へ投入	収穫長期タイプに各労働力投入タイプを組合せる（ネギ+セリ+オウトウ等）
主な作業内容	収穫・運搬作業	収穫・運搬作業等	収穫・運搬作業	収穫・運搬作業等
作業上の留意点	・求職者の能力、経験に応じ作業内容を変更	・簡単な説明で従事可能な作業への配置	—	・簡単な説明で従事可能な作業への配置
経営体負担	・直接労賃、通勤手当等 残業手当等 労災加入費 協議会参加費	・直接労賃、残業手当等 宿泊施設利用費 労災加入費 協議会参加費	・請負作業料金	・直接労賃、残業手当等 宿泊施設利用費 労災加入費 協議会参加費
運用上の課題	・労働力投入タイプによっては、求職者の確保に苦慮	・滞在施設導入に関する負担金が多い	・作業員の確保と定着 ・年間作業スケジュールを構築	・求人先での就業条件統一 ・地域協議会同士の連携

注1) 滞在型アルバイトとは、就業期間中に就業先に滞在しながら作業を行う求職者とした

2) 秋田県農業労働力サポートセンターは、行政と農業団体等が連携し県域による労働力確保に向けた取組の支援を行っている

3) 各園芸品目労働力投入タイプは、以下の通りとした

スポットタイプ：特定時期（旬）に集中して労働力が投入されるタイプ、生育連動タイプ：植物体の生育に応じ労働力が変動して投入されるタイプ

収穫短期タイプ：約2ヶ月間以内の短期間に収穫作業を中心に投入されるタイプ、収穫長期タイプ：3ヶ月以上の長期間に収穫作業、一般管理等に投入されるタイプ

[その他]

研究課題名：大規模経営体の園芸部門における労働力確保条件に関する研究

研究期間：平成30年度～令和2年度

予算区分：県単

掲載誌等：なし